PC98-**NX**シリーズ **Mate** 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型 (Windows 2000 Professional/ Windows NT 4.0 セレクタブルモデル)



# はじめにお読みください

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。 梱包箱を開けたら、まず本書の手順通り操作してください。

本機ではWindows 2000 Professional(以降、Windows 2000)、またはWindows NT Workstation 4.0(以降、Windows NT 4.0)のいずれかのオペレーティングシステム1つを使用できます。はじめて本機の電源を入れたときに、使用するオペレーティングシステムを選択してください。選択しなかったオペレーティングシステムをご利用になる場合は、ライセンス取得のため別途オペレーテイングシステムをご購入していただく必要があります。

以降の[A]は、省スペース型のMA12T/E、MA10T/E、MA93T/E、MA70H/Eの場合を 表します。[B]は、省スペース型のMA10T/C、MA86T/C、MA70H/C、MA70H/Lの場 合を表します。

なお、本書に記載のイラストはモデルにより異なります。

操作の流れ	1	添付品の確認2 不足しているものや、破損しているものがないかを最初に確認します。
	2	設置場所の決定14 <sup>設置する場所を決めます。</sup>
	3	添付品の接続
		使い始めるのに必要な機器を接続します。本体の型を見て、本書の各型のページ をご覧ください。接続する前には、必ず添付の <sup>®</sup> 安全にお使いいただくために』を お読みください。
		省スペース型の場合
	4	Windowsのセットアップ
	5	お客様登録57 お客様の登録をします。
	6	マニュアルの使用方法57 添付されているマニュアルの使い方について説明しています。
	7	使用する環境の設定と上手な使い方



# 型番を控える

相包箱のステッカーに記載されている15桁の型番(以降、スマートセレク ション型番と呼びます)またはフリーセレクション型番(フレーム型番 とコンフィグオプション型番)を、このマニュアルに控えておきます。型 番は添付品の確認や、他のオペレーティングシステムをセットアップす るときに必要になりますので、必ず控えておくようにしてください。



フリーセレクション型番の場合は、型番を控えずに、梱包箱をなくしてしまうと 他のオペレーティングシステムをセットアップする際に必要な情報が手元に残 りません。

	XXXXX-XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXX	
[ 1218 : PC-MAACOCCOCCOC ]	

左が、スマートセレクション型番ょ右が、フリーセレクション型番」のス テッカーです。

スマートセレクション型番のステッカーの場合は、「1.スマートセレク ション型番を控える」へ、フリーセレクション型番のステッカーの場合 は、P.5「2.フリーセレクション型番を控える」へ進んでください。

1.スマートセレクション型番を控える

スマートセレクション型番を控えます。控え終わったら、P.10「添付品を 確認する」へ進んでください。





#### の意味は次の通りです。

# CPUのクロック周波数を表しています。

<b>~</b>	型番	クロック周波数
	10	1.0 GHz
	12	1.20 GHz
	15	1.50 GHz
	17	1.70 GHz
	70	700 MHz
	86	866 MHz
	93	933 MHz

#### CPUの種類を表しています。

$\checkmark$	型番	CPU <b>の種類</b>			
	Н	インテル <sup>®</sup> Celeron™ プロセッサ			
	S	インテル <sup>®</sup> Pentium <sup>®</sup> 4 プロセッサ			
	Т	インテル <sup>®</sup> Pentium <sup>®</sup> III プロセッサ			

#### 本体の型を表しています。

$\checkmark$	型番	本体の型
	C、E <b>または</b> L	省スペース型
	М	ミニタワー型
	S	デスクトップ型

### ディスプレイのあるなし、または種類を表しています。

$\checkmark$	型番	ディスプレイの種類
	5	DV15A3
	В	F14T62
	С	FE91
	D	DV17D2
	F	F15T53-DF
	J	F17R11

$\checkmark$	型番	ディスプレイの種類	
	М	F15T52	
	S	F15R52	
	Т	F15R53-DV	
	U	F14T63-DV	
	V	F15T53-DV	
	Х	F14T63-DF	
	Z	なし	

# 選択アプリケーションのあるなし、または種類を表しています。

$\checkmark$	型番	選択アプリケーションの種類			
	1	Office 2000 Personal			
	2	Office 2000 Professional			
	4	Office XP Personal			
	N	Office XP Professional			
	Z	なし			

CD-ROMまたはCD-R/RW、キーボードの種類を表しています。

~	型番	CD-ROM <b>または</b> CD-R/RW	キーボードの種類
	6	CD-R/RW	PS/2 109 <b>キーボード</b>
	۸		テンキー付PS/2小型キーボード
	A	CD-KOM	(縦置き収納型)
	В		USB 109 <b>キーボード</b>
	J	CD-R/RW	テンキー付PS/2小型キーボード
			(縦置き収納型)
	М		USB 109 <b>キーボード</b>
	Т	CD-ROM	PS/2 109 <b>キーボード</b>

合計メモリの容量、通信機能の種類、グラフィックアクセラレータの種類を表しています。

通信機能の種類とセットで設定されているエネルギースターは、未 対応です。

<ul> <li>✓</li> </ul>	型番	合計メモリ容量	通信機能の種類	グラフィックアクセラレータの種類 注意
	5	510 MP	LAN	
	6		FAX <b>モデム</b>	
	В	64MB		GeForce2 MX
	D	128MB		
	E	256MB		
	G	64MB	LAN	
	Н	128MB		
	J	256MB		チップセットに内蔵
	М	512MB		
	N	64MB	₣ <b>△४₽</b> <i>₸</i> ∧	
	R	128MB		

注意 グラフィックアクセラレータの種類は、MA12T/E、MA10T/E、 MA93T/Eに設定されたメニューです。その他の機種には設定され ていません。

$\checkmark$	型番	合計メモリ容量	通信機能の種類	グラフィックアクセラレータの種類 注意
	S	256MB		チップセットに内蔵
	U	64MB		GeForce2 MX
	W	128MB	FAX <b>モデム</b>	Ger Greez MA
	Х	512MB		チップセットに内蔵
	Y	256MB		GeForce2 MX

注意 グラフィックアクセラレータの種類は、MA12T/E、MA10T/E、 MA93T/Eに設定されたメニューです。その他の機種には設定され ていません。

ハードディスクの容量、筐体アクセントカラーの種類を表していま す。

	刑采	ハードディフクの突号	筐体アクセントカラーの種類 注意		
Ý	无用		[A]の場合	[B] <b>の場合</b>	
	9	60GB	パウダーグリーン		
	В		スモーク	ブラック	
	С		パウダーレッド	レッド	
	Р	40GB	パウダー	<b>7</b> 1	
			バイオレット	270-	
	E		パウダーホワイト	ホワイト	
	G	30GB	75_5	イニック	
	J	60GB	Xt-9	7.797	
	М	30GB	மீ <b>ப்கீ</b> ட்டலுக	کا بھر ا	
	N	60GB	7.55-55	אפע	
	S	30GB	パウダー	<b>-t</b> u	
	Т	60GB	バイオレット	270-	
	V	30GB	ᆙᆸᄻᅳᆂᄆᄼᆈ	#D7L	
	W	60GB	1 1.72 - 1.71	ホンイド	
	Х	30GB	パウダーガリーン		
	Y	40GB			

注意 筐体アクセントカラーの種類は、省スペース型に設定されたメ ニューです。デスクトップ型、ミニタワー型には設定されていません。

上記の ~ のすべての組み合わせが実現できているわけではあ りません。

次にP.10「添付品を確認する」へ進んでください。

2.フリーセレクション型番を控える

フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、 P.10「添付品を確認する」へ進んでください。

#### ● フレーム型番を次のチェック表にチェックする

XXX-XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	71
DOOD VPC-MADOOXX	

# PC-MA ZZ8

#### の意味は次の通りです。

#### CPUのクロック周波数を表しています。

$\checkmark$	型番	クロック周波数
	10	1.0 GHz
	12	1.20 GHz
	15	1.50 GHz
	17	1.70 GHz
	70	700 MHz
	86	866 MHz
	93	933 MHz

#### CPUの種類を表しています。

$\checkmark$	型番	CPU <b>の種類</b>
	Н	インテル <sup>®</sup> Celeron™ プロセッサ
	S	インテル <sup>®</sup> Pentium <sup>®</sup> 4 プロセッサ
	Т	インテル <sup>®</sup> Pentium <sup>®</sup> III プロセッサ

#### 本体の型を表しています。

$\checkmark$	型番	本体の型
	C、E <b>または</b> L	省スペース型
	М	ミニタワー型
	S	デスクトップ型

#### ❷ コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする



次のコンフィグオプション(以降、COPと略します)型番のうち、 ~ はどのモデルにも必須でステッカーには必ず記載されています(選 択必須COP)。 ~ は選択したモデルやオプションによってステッ カーに記載されます(選択必須COPおよび任意選択COP)。また、ス テッカーに記載されているCOP型番は順不同になっています。

COP型番に記載されている英数字の意味は次の通りです。

PC-M-KB 3はキーボードの種類を表しています。(選択必須 COP)

$\checkmark$	型番	キーボードの種類
	10T	テンキー付きPS/2小型キーボード(縦置き収納型)
	10U	<b>テンキー付き</b> USB小型 <b>キーボード</b>
	PS2	PS/2 109 <b>キーボード</b>
	USB	USB 109 <b>キーボード</b>

PC-M-1H 5は内蔵3.5インチベイに搭載されるハードディ スク(プライマリマスタ)の容量を表しています。(選択必須COP)

$\checkmark$	型番	ハードディスクの容量	
	030	30GB	
	040	40GB	
	060	60GB	

PC-M-ME 5は合計メモリの種類と容量を表しています。(選 択必須COP)

$\checkmark$	型番	合計メモリの種類と容量	
	D06	SDRAM 64MB(100MHz)	
	D12	SDRAM 128MB( 100MHz )	
	D19	SDRAM 192MB(100MHz)	
	D25	SDRAM 256MB(100MHz)	
	D51	SDRAM 512MB( 100MHz )	
	N06	SDRAM 64MB( 100MHz )	
	N12	SDRAM 128MB(100MHz)	
	N19	SDRAM 192MB( 100MHz )	
	N25	SDRAM 256MB(100MHz)	
	N51	SDRAM 512MB( 100MHz )	
	R06	RDRAM 64MB(ECC)	
	R10	RDRAM 1.0GB(ECC)	
	R12	RDRAM 128MB(ECC)	
	R13	RDRAM 128MB <b>(</b> 64MB × 2 <b>)</b> ECC )	
	R19	RDRAM 192MB(ECC)	
	R25	RDRAM 256MB(ECC)	
	R26	RDRAM 256MB( 128MB × 2 ) ECC )	

$\checkmark$	型番	合計メモリの種類と容量	
	R51	RDRAM 512MB(ECC)	
	T06	SDRAM 64MB(133MHz)	
	T12	SDRAM 128MB( 133MHz )	
	T19	SDRAM 192MB( 133MHz )	
	T25	SDRAM 256MB( 133MHz )	
	T51	SDRAM 512MB( 133MHz )	

PC-M-CD は5インチベイに搭載されるファイルベイ用内 蔵機器(セカンダリマスタ)の種類を表しています。(選択必須 COP)

$\checkmark$	型番	ファイルベイ用内蔵機器の種類
	CDD2	CD-ROM
	CDR5	CD-R/RW
	CDS3	CD-ROM
	CRT4	CD-R/RW
	DCR1	CD-R/RW with DVD-ROM

PC-M-NE 4は通信機能の種類、エネルギースター対応また は未対応を表しています。(選択必須COP)

$\checkmark$	型番	通信機能の種類	エネルギースター
	LAE		対応
	LAH		
	LAL		未対応
	LAN		
	LAR	LAN	対応
	LAV		未対応
	LAW		
	LAY		対応
	MDE	EAV <b>E<i>ZI</i></b>	]
	MDM	FAAtja	未対応

PC-M-AC 2は筐体アクセントカラーの種類を表していま す。(省スペース型は選択必須COP、その他はなし)

<ul> <li>✓</li> </ul>	型番	筐体アクセントカラーの種類
	BKE	スモーク
	BLE	パウダーバイオレット
	BLK	プラック
	BLU	プルー
	GRE	パウダーグリーン
	MWE	パウダーホワイト
	MWH	ホワイト
	RED	レッド
	REE	パウダーレッド

はディスプレイの種類を表していま

#### **す。(任意選択**COP)

DV F

$\checkmark$	型番	ディスプレイの種類
	DV15A3	DV15A3
	DV17D2	DV17D2
	F14T62	F14T62
	F14T63-DF	F14T63-DF
	F14T63-DV	F14T63-DV
	F15R52	F15R52
	F15R53-DV	F15R53-DV
	F15T52	F15T52
	F15T53-DF	F15T53-DF
	F15T53-DV	F15T53-DV
	F17R11	F17R11
	FE91-M	FE91-M 注意

注意 ディスプレイの箱、保証書、銘板、添付のマニュアルには「-M」が書か れていませんが、同じ商品です。

PC-M-AP **は選択アプリケーションの種類を表していま** す。(任意選択COP)

$\checkmark$	型番	選択アプリケーションの種類	
	MPE4	Office XP Professional	
	MSE4	Office XP Personal	
	MSW2	Office 2000 Personal	
	MSW3	Office 2000 Professional	

PC-M-ES 1**は運用管理アプリケーションを表しています。** (任意選択COP)

>	型番	運用管理アプリケーション
	ESM	ESMPRO <b>クライアントライセンス</b>

PC-M-2H 5は内蔵3.5インチベイに搭載される、増設ハード ディスク(プライマリスレーブ)の容量を表しています。(任意選択 COP)

$\checkmark$	型番	増設ハードディスク容量
	030	30GB
	040	40GB
	060	60GB
	E30	30GB
	E40	40GB
	E60	60GB

PC-M-GR 1はグラフィックアクセラレータを表していま す。(任意選択COP)

$\checkmark$	型番	グラフィックアクセラレータ
	GEM	GeForce2 MX

# 添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリス トを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損して いた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

梱包箱や添付品収納箱には、このチェックリストに記載されていない注意書 きの紙などが入っている場合があります。

● 箱の中身を確認する

P.3 ①またはP.6 ①、②の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

保証書(本体梱包箱に貼り付けられています)

保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、 保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書 の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理 については、ご購入元またはNECにご相談ください。修理によっ て機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理い たします。詳しくは、保証書をご覧ください。

はじめにお読みください(このマニュアルです)

本体( ディスプレイやキーボードなど	添付品収納箱
の周辺機器を含まなNMate	キーボード
を指します)	マウス

選択アプリケーション Microsoft。Office XP Personal、Microsoft。Office XP Professional、 Microsoft。Office 2000 Personal、Microsoft。Office 2000 Professional、 およびESMPROクライアントライセンス\* 添付品は、選択アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。 (P.4 ①・、またはP.9 ②・、 で選択アプリケーションの 種類がわかります)

\* ESMPRO/ClientManager Ver 2.1/Ver 3.0/Ver 3.1/Ver 3.2、DeliveryManager Ver 4.0/Ver 4.1/Ver 5.0 /Ver 5.2/Ver 6.0/Ver 6.2(ライセンスFD)

# ❷ 添付品収納箱の中身を確認する

\_\_\_ は、各々1つにパックされています。







	- Windows 2000 <b>用の添付品</b>
マニュアル	Microsoft <sub>®</sub> Windows <sub>®</sub> 2000 Professional クイックスタートガイド
	Microsoft <sub>®</sub> Windows NT <sub>®</sub> Workstation
マニュアル	ファーストステップガイド
	Microsoft <sub>®</sub> Windows NT <sub>®</sub> Workstation
	Version 4.0 日本語版使用許諾契約書





Easy CD Creator<sup>™</sup> 4 Standard/ DirectCD<sup>™</sup> 3 CD-ROM

ファイルベイ用内蔵機器の種類がCD-R/RW with DVD-ROMの場合添付



Jet-Audio Player CD-ROM 注 Easy CD Creator<sup>™</sup> 4 Standard/ DirectCD<sup>™</sup> 3 CD-ROM

注 本機でWindows 2000を選択した場合にのみ使用できます。

(P.3 ●・またはP.9 ●・でディスプレイのあるなし、種類がわかります。)

④本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致している ことを確認する

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保 証書は大切に保管しておいてください。

なお、フリーセレクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示されています。



# 設置場所を決める



注意事項を守って正しくお使いください。



電源はAC100V(50/60Hz )を使用してください。



電源ケーブルの上に、ものを載せないでください。

電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてく ださい。

電源ケーブルの付け根部分を無理に曲げないでください。

ケーブル類は、つまずかないように整理してください。

◯設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

#### 屋内

温度10 ~35 湿度20%~80% (ただし結露しないこと) 平らで十分な強度があり、落下のおそれがない (机の上など)

# 🗙 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機(本体とキーボードなど を含んだMateを指します)の故障や破損の原因となります。

磁気を発生するもの(扇風機、スピーカなど)や磁気を帯びているもの の近く

直射日光があたる場所

暖房機の近く

薬品や液体の近く

腐食性ガス(オゾンガスなど)が発生する場所

テレビ、ラジオ、コードレス電話、携帯電話、他のディスプレイなどの近く

人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

ホコリが多い場所

本体背面または側面にある通風孔がふさがる場所

ディスプレイの通風孔がふさがる場所

テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

設置場所が決まったら……

設置する場所が決まったら、本機の設置と添付品の接続を行うため、次の 点を確認してください。

本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いを すると、故障や破損の原因となります。

本体およびディスプレイの接続部は、背面にまとまっています。いきなり 壁際に本体およびディスプレイを置いてしまうと、うまく接続できませ ん。机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでください。 通風孔をふさがないようにできるだけ15cm以上のスペースを確保して ください。また、キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必 要です。

本機を移動するときは……

本機に接続している、すべてのケーブル(電源ケーブル、アース線など)を 取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面 を持ってください。また、移動中に壁などにぶつけたりすると故障や破損 の原因となりますので、大切に取り扱ってください。

以上で設置場所の決定は完了です。 次のページの「3]添付品の接続」へ進んでください。



添付品の接続

# 接続するときの注意

 本機を接続するときは、コネクタの端子に触れない 故障の原因となります。

デスクトップ型の場合はP.31へ進んでください。 ミニタワー型の場合はP.39へ進んでください。

# 省スペース型の場合

#### 1. 設置

本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタ ビライザと言う脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態で は、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場 合は、転倒防止のため、必ず1か2のいずれかの方法でスタビライザを取り 付けて設置してください。

また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザ をセットする必要はありません。横置きで使用する場合は、ゴム足がある 方を下にして設置してください。また、本体の上に約20kgまでのディス プレイなどを置くことができます。



本体を横置きにして使用する場合、FE91は質量が20kgを超え るため、本体の上に置かないでください。

P.18「2.マウス、キーボードを接続する」へ進んでください。

1. スタビライザを2つ取り付ける場合

●、②のいずれかの方法でスタビライザを取り付けてください。

#### ①[A]の場合

机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

この場合、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚手の 紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

## 片方のスタビライザを本体のツメと足に合わせ、スタビライザを 矢印方向にストッパがロックされるまでスライドさせる



もう一方のスタビライザをと同じ方法で取り付ける

❷[B] 70場合

机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

2つのスタビライザを次のようにかみ合わせる



本体底面の突起にスタビライザを合わせて、スタビライザ取り付け け用ネジ2個を使い取り付ける

本体を横にするときは、机やテーブルなどを傷つけたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。



2. スタビライザを1つ取り付ける場合

次のように、片側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、壁など と反対側の側面のみにスタビライザを1つ取り付けることで設置する ことができます。イラストは[A]の場合です。 ●か❷のいずれかの方法でセットしてください。





1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、 必ず反対側の側面を壁などにつけて使用してください。

- ●[A]の場合は、P.16「1.スタビライザを2つ取り付ける場合」と同じ 方法で1つのみ取り付ける
- ④[B]の場合は1つのスタビライザを、スタビライザ取り付け用ネジ 2個を使い取り付ける



2. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、●から❸のいずれかで接続してください。

● USB接続のキーボードを接続する場合(ここではUSB 109キーボードを例に説明します)

添付のマウスをキーボードに接続する



キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに 接続する

液晶ディスプレイに接続する場合

ここではディスプレイ(F14T62)がセットになった場合を例に 説明します。

液晶ディスプレイの背面にある2つのUSBコネクタの、どちらを使用しても構いません。



本体(背面)に接続する場合

MA12T/E、MA10T/E、MA93T/E、MA70H/Eで、Windows NT 4.0を選択する場合は、本体背面の3つのUSBコネクタのうち、左か ら1番目または2番目のどちらかに接続してください。一番右側にある コネクタおよび本体前面にあるコネクタに接続しないでください。



ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケーブ ルの抜け防止に役立ちます。

[A **3のケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイ** ド』「PART2 周辺機器を利用する(省スペース型(MA12T/E、 MA10T/E、MA93T/E、MA70H/Eの場合))」の「ケーブルストッ パの取り付け/取り外し」をご覧ください。

また、[B]のケーブルストッパの使い方は、「PART3 周辺機器 を利用する(省スペース型(MA10T/C、MA86T/C、MA70H/C、 MA70H/Lの場合))」の「ケーブルストッパの取り付け/取り外 し」をご覧ください。

#### 本体(前面)に接続する場合

USBケーブルフックにキーボードのケーブルを引っ掛けてか ら、USBコネクタに接続する

MA12T/E、MA10T/E、MA93T/E、MA70H/Eで、Windows NT 4.0 を選択する場合は、本体前面のUSBコネクタに接続しないでください。

USBケーブルフックを利用すると、USBケーブルの抜け防止に役立ちます。

アクリルパネルやUSBケーブルフックは、誤ってキーボードの ケーブルを強く引くと過度の力がかかり、破損する場合があり ます。



②PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではテンキー付きPS/ 2小型キーボード(縦置き収納型)を例に説明します) 添付のマウスをキーボードに接続する



キーボードから出ているマウス(緑)とキーボード(紫)のケーブ ルを本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する



- ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難防止に役立ちます。ケーブルストッパの参照先は、P.19「本体(背面)に接続する場合」をご覧ください。
- ③PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キー ボードを例に説明します)

添付のマウス(緑)キーボード(紫)を、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する



ケーブルストッパを利用すると、キーボード、マウスの盗難防止に 役立ちます。ケーブルストッパの参照先は、P.19「本体(背面)に接続 する場合」をご覧ください。

#### 3.ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、次の1か2のいずれかの方法で接続してく ださい。

ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接 続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参 照しながら接続してください。

1.アナログ液晶ディスプレイ、またはCRTディスプレイを接続する場合

●か❷のいずれかの方法で接続してください。

①[A ]の場合

ここでは、ディスプレイ(F14T62)がセットになった場合を例に説 明します。

GeForce2 MXを選択したMA12T/E、MA10T/E、MA93T/Eの場 合は、 ~ の順番に接続してください。

GeForce2 MXを選択しないMA12T/E、MA10T/E、MA93T/Eの場合、またはMA70H/Eの場合は、 ~ の順番に接続してください。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、添付されているDVI-アナログ変換ケーブルのコネク タに接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネ ジ止めする

GeForce2 MXを選択しないMA12T/E、MA10T/E、MA93T/E の場合、またはMA70H/Eの場合は、ディスプレイの背面につな がっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、アイコン(○)と コネクタの形状を確認し、本体のアナログRGBコネクタに接続 する

DVI-アナログ変換ケーブルのコネクタ、またはビデオ信号ケー ブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体とアナログ液 晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する Windows NT 4.0を選択する場合は、本体背面の3つのUSBコネクタの うち、左から1番目または2番目のどちらかに接続してください。一番右側 にあるコネクタおよび本体前面にあるコネクタに接続しないでください。

Windows 2000を選択する場合、液晶ディスプレイのUSBケーブ ルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

GeForce2 MX & MA10T/E, MA10T/E, MA93T/EOUBA TECHMA70H/EOUBA GeForce2 MX & MA93T/E OUBA OUBA

**④[ B ]の場合** 

ここではディスプレイ(F14T62)がセットになった場合を例に説明 します。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、アイコン(〇)とコネクタの形状を確認し、本体のアナ ログRGBコネクタに接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネ ジ止めする アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体とアナログ液 晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに 接続することをおすすめします。



2. デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

①[A ]の場合

ここでは、ディスプレイ(F14T63-DV)がセットになった場合を例 に説明します。

GeForce2 MXを選択したMA12T/E、MA10T/E、MA93T/Eの 場合、ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブ ルのコネクタをアイコン( <sup>[]</sup>)と、コネクタの形状を確認し、本体 のデジタルRGBコネクタ( DVI-I )に接続する

GeForce2 MXを選択しないMA12T/E、MA10T/E、MA93T/E の場合、またはMA70H/Eの場合、ディスプレイの背面につな がっているビデオ信号ケーブルのコネクタをアイコン(小)とコ ネクタの形状を確認し、本体のデジタルRGBコネクタ(DVI-D) に接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジでしっかりネ ジ止めする 本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

Windows NT 4.0を選択する場合は、本体背面の3つのUSBコネク タのうち、左から1番目または2番目のどちらかに接続してください。一 番右側にあるコネクタおよび本体前面にあるコネクタに接続しないで ください。

Windows 2000を選択する場合、液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。



#### ④[B]の場合

ここでは、ディスプレイ(F14T63-DF)がセットになった場合を例 に説明します。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、アイコン(〇)とコネクタの形状を確認し、本体のデジ タルRGBコネクタ(DFP)に接続する

このとき、ビデオ信号ケーブルのコネクタを本体のデジタル RGBコネクタ(DFP)に確実にロックされるまで押し込んでくだ さい。

本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する 液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに 接続することをおすすめします。



4. リンクケーブル(別売)またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。 LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブル (別売)を使い、①の手順で接続します。 FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブル を使い、②の手順で接続します。

● リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン(品)に従って接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコネ クタを接続する



❷ モジュラーケーブルを接続する場合

- ・端末機器の設計についての認証(技術基準適合認定)は電話回線で受け ています。
- FAXモデムボードに接続できる電話回線は2線式のみです。電話機の種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。
- FAXモデムボードの詳細については、セットアップ完了後に『活用ガイドハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワ 型』「PART1本体の構成各部」の「FAXモデムボード」をご覧ください。

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン (合)に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネクタを本 体のアイコン(、、)に従って接続する

モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネクタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使う ことができます。



5. アース線、電源ケーブルを接続する

# 🕂 安全に関するご注意

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。



アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 火災の原因となります。



アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。

本機に添付のサービスコンセント付き電源ケーブルをご使用になる前 に、次の注意事項をよく読んでから接続してください。  サービスコンセントには、ディスプレイの電源ケーブル以外は 接続しないでください。サービスコンセントで供給できる電源の容量は3Aまでです。消費電力の大きな機器などに接続すると、火災の原因となります。



次のページのイラストを見て●~❸の順番に接続してください。

#### ● アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

ディスプレイの電源ケーブルのプラグをサービスコンセント付き電源
 ケーブルに差し込む

次のページのイラストはアナログ液晶ディスプレイ(F14T62)がセットになった場合です。ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

❸ 本体の電源ケーブルを接続する

本体にサービスコンセント付き電源ケーブルを接続する

サービスコンセント付き電源ケーブルのもう一方のプラグを壁な どのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)



以上で添付品の接続は完了です。 P.48 4 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

# デスクトップ型の場合

1. 設置

本体のゴム足がある方を下にして設置してください。 本体には、約25kgまでのディスプレイなどを置くことができます。

2. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、❶から❸のいずれかで接続してください。

● USB接続のキーボードを接続する場合(ここでは、USB 109キーボードを例に説明します)

添付のマウスをキーボードに接続する



キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに接 続する

液晶ディスプレイに接続する場合

ここではディスプレイ(F14T62)がセットになった場合を例に説 明します。

液晶ディスプレイの背面にあるUSBコネクタの、どちらを使用しても構いません。





添付のマウスをキーボードに接続する



キーボードから出ているマウス(緑)とキーボード(紫)のケーブルを、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する



 ● PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キーボー ドを例に説明します)

添付のマウス(緑) キーボード(紫)を本体の同色のコネクタにそれぞ れ接続する



3. ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、次の❶または❷のどちらかの方法で接続 してください。

ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接 続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参 照しながら接続してください。

● CRTディスプレイまたはアナログ液晶ディスプレイを接続する場合

ここではディスプレイ(DV17D2)がセットになった場合を例に説明 します。

本体のアナログRGBコネクタの位置は、機種によって異なりますの で、機種とアナログRGBのコネクタの位置をよく確認してから接続し てください。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネ クタを、アイコン(〇)とコネクタの形状を確認し、本体のアナログ RGBコネクタに接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ 止めする アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体とアナログ液晶 ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに 接続することをおすすめします。



⑦デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

ここではディスプレイ(F14T63-DF)がセットになった場合を例に説 明します。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネ クタを、アイコン(〇)とコネクタの形状を確認し、本体のデジタル RGBコネクタ(DFP)に接続する

このとき、ビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のデジタルRGB コネクタ(DFP)に確実にロックされるまで押し込んでください。

本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する 液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに 接続することをおすすめします。



4. リンクケーブル(別売)またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブル (別売)を使い、●の手順で接続します。

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、2の手順で接続します。

● リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン(品)に従って接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコネ クタを接続する



❷ モジュラーケーブルを接続する場合

- ・端末機器の設計についての認証(技術基準適合認定)は電話回線で受け ています。
- FAXモデムボードに接続できる電話回線は2線式のみです。電話機の種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。
- FAXモデムボードの詳細については、セットアップ完了後に『活用ガイドハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワ 型』「PART1本体の構成各部」の「FAXモデムボード」をご覧ください。

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン (☆)に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネクタを、 本体のアイコン(、)に従って接続する モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネ クタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使う ことができます。



5. アース線、電源ケーブルを接続する

# ⚠️ 安全に関するご注意

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。



アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 火災の原因となります。



アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があ ります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。 次のページのイラストを見て、●~❸の順番に接続してください。

● アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

❷ ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはCRTディスプレイ(DV17D2)がセットに なった場合です。ディスプレイによって接続方法が異なる場合があり ますので、ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続して ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

●本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)



以上で添付品の接続は完了です。 P.48 4 Windowsのセットアップ」へ進んでください。 1. 設置

縦置きの場合は、「2.マウス、キーボードを接続する」へ進んでください。 本体を横置きで使用する場合は、ゴム足がある方を下にして設置してく ださい。また、本体の上に約25kgまでのディスプレイなどを置くことが できます。本体を横置きにして使用する場合、ファイルベイ用内蔵機器 (CD-ROMなど)を入れ替えることで、利用しやすくなります。詳しくは、 『ハードウェア拡張ガイド』PART5 周辺機器を利用する(ミニタワー 型)「ファイルベイ用内蔵機器の取り外し/取り付け」「フロッピーディス ク、CD-ROMなどを使いやすくする(横置きに適した向きの変更)」をご 覧ください。

2. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、❶から❸のいずれかで接続してください。

● USB接続のキーボードを接続する場合(ここではUSB 109キーボードを例に説明します)

添付のマウスをキーボードに接続する



キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに接続する

液晶ディスプレイに接続する場合

ここではディスプレイ(F14T62)がセットになった場合を例に説 明します。

液晶ディスプレイの背面にある2つのUSBコネクタの、どちらを 使用しても構いません。



#### 本体(背面)に接続する場合

MA17S/M、MA15S/MでWindows NT 4.0を選択する場合、必ず本 体背面にある2つのUSBコネクタのどちらかに接続してください。本体 前面のUSBコネクタを使えるのは、Windows 2000を選択する場合で す。Windows NT 4.0を選択する場合は、本体前面のUSBコネクタに 接続しないでください。



ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケーブル の抜け防止に役立ちます。ケーブルストッパの使い方は、『ハー ドウェア拡張ガイド』『PART5 周辺機器を利用する(ミニタ ワー型)」の「ケーブルストッパの取り外し/取り付け」をご覧 ください。

②PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではテンキー付きPS/ 2小型キーボード(縦置き収納型)を例に説明します)

添付のマウスをキーボードに接続する



キーボードから出ているマウス(緑)とキーボード(紫)のケーブ ルを、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する



ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難防止に役立ちま す。ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』 「PART5 周辺機器を利用する(ミニタワー型)」の「ケーブルストッ パの取り外し/取り付け」をご覧ください。

③PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キー ボードを例に説明します)

添付のマウス(緑),キーボード(紫)を本体の同色のコネクタにそれ ぞれ接続する



ケーブルストッパを利用すると、キーボード、マウスの盗難防止に 役立ちます。ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイ ド』「PART5 周辺機器を利用する(ミニタワー型)」の「ケーブルス トッパの取り外し/取り付け」をご覧ください。 お使いのディスプレイにより❶または❷のどちらかの方法で接続してく ださい。

ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接 続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参 照しながら接続してください。

● CRTディスプレイまたはアナログ液晶ディスプレイを接続する場合 ここではディスプレイ(DV17D2)がセットになった場合を例に説明 します。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネ クタを、本体のアナログRGBコネクタにアイコン(〇)とコネクタ の形状を確認して接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ 止めする

アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに本体とアナログ液晶 ディスプレイをUSBケーブルで接続する

MA17S/M、MA15S/MでWindows NT 4.0を選択する場合、必ず本体背面 にある2つのUSBコネクタのどちらかに接続してください。本体前面のUSBコ ネクタを使えるのは、Windows 2000を選択する場合です。Windows NT 4.0を選択する場合は、本体前面のUSBコネクタに接続しないでください。

MA10T/Mの場合、液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。



#### ❷ デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

MA17S/M、MA15S/Mではディスプレイ(F14T63-DV)がセットに なった場合、MA10T/Mではディスプレイ(F14T63-DF)がセットに なった場合を例に説明します。

MA17S/M、MA15S/Mの場合、ディスプレイの背面につながって いるビデオ信号ケーブルのコネクタを、刻印(DVI)とコネクタの形 状を確認し、本体のデジタルRGBコネクタ(DVI-D)に接続する MA10T/Mの場合、ディスプレイの背面につながっているビデオ信 号ケーブルのコネクタを、アイコン(〇)とコネクタの形状を確認 し、本体のデジタルRGBコネクタ(DFP)に接続する

MA17S/M、MA15S/Mの場合はビデオ信号ケーブルのコネクタに 付いているネジでしっかり止める MA10T/Mの場合は、ビデオ信号ケーブルのコネクタを本体のデジ タルRGBコネクタ(DFP)に確実にロックされるまで押し込む

本体とデジタル液晶ディスプレイをUSB ケーブルで接続する

MA17S/M、MA15S/MでWindows NT 4.0を選択する場合、必ず本体背面 にある2つのUSBコネクタのどちらかに接続してください。本体前面のUSBコ ネクタを使えるのは、Windows 2000を選択する場合です。Windows NT 4.0を選択する場合は、本体前面のUSBコネクタに接続しないでください。

MA10T/Mの場合、液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

MA17S/M、MA15S/Mの場合



4. リンクケーブル(別売)またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブル (別売)を使い、●の手順で接続します。

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、2の手順で接続します。

● リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン(品)に従って接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコネ クタを接続する

MA10T/Mの場合

MA17S/M.



- ・端末機器の設計についての認証(技術基準適合認定)は電話回線で受け ています。
- FAXモデムボードに接続できる電話回線は2線式のみです。電話機の種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。
- FAXモデムボードの詳細については、セットアップ完了後に『活用ガイドハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワ 型』「PART1本体の構成各部」の「FAXモデムボード」をご覧ください。

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン (合))に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネクタを、 本体のアイコン(、))に従って接続する

モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネクタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使う ことができます。



5. アース線、電源ケーブルを接続する

# 🥂 安全に関するご注意

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。 アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。

アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 \*\*/注意 火災の原因となります。

▲ アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があ ります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。

次のページのイラストを見て●~❸の順番に接続してください。

● アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

❷ ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはCRTディスプレイ(DV17D2)がセットに なった場合です。ディスプレイによって接続方法が異なる場合があり ます。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してくだ さい。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

● 本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)



以上で添付品の接続は完了です。 次のページの「4 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

# Windowsのセットアップ

はじめて本機の電源を入れるときは、ご使用になるオペレーティングシ ステム(Windows 2000、またはWindows NT 4.0)を選択し、オペレーティ ングシステムのセットアップの作業が必要です。

# セットアップをするときの注意

4

はじめて本機の電源を入れるときには、使用するオペレーティングシス テム(Windows 2000、またはWindows NT 4.0)を選択することができ ますが、Windowsのセットアップ終了後にオペレーティングシステムを 変更したい場合は、ライセンス取得のため別途オペレーティングシステ ムを購入していただく必要がありますのでご注意ください。

- ・プリンタやメモリなど、周辺機器は接続しない
   この作業が終わるまでは、プリンタや増設メモリなどの取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒に購入した場合は、先に「ひいndowsのセットアップ」から「フ使用する環境の設定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。
- 途中で電源を切らない
   作業の途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源
   スイッチを操作したり電源ケーブルを引き抜いたりすると、故障の原
   因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありま
   せんので、慌てずに手順通り操作してください。

**障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、** P.55<sup>「</sup>セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

## セットアップを始める前の準備

Windowsセットアップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があり ます。登録する名前を決めておいてください。

## 電源を入れる

必ず❶、②の順番に従って、正しく電源を入れてください。

● ディスプレイの電源を入れる

ディスプレイの電源スイッチの位置は、ディスプレイに添付のマニュアルを参照してください。

CRT**ディスプレイ(**DV17D2) の場合



アナログ液晶ディスプレイ (F14T62)の場合

ディスプレイの電源スイッチ



❷ 本体の電源を入れる

省スペース型の場合



デスクトップ型の場合

ミニタワー型の場合



# セットアップの作業手順

これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に 手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故 障の原因になります。

画面左上に「Starting Windows 98...」と表示されます。これは、オペレー ティングシステムをセットアップするためにWindows 98の一部機能を 使用しているためです。

- ●電源ランプが点灯して、「オペレーティングシステムの選択」の画面が 表示されたら、使用するオペレーティングシステムを選択して 【Enter】を押す
- ❷ 使用するオペレーティングシステムを確認する画面が表示されたら、 表示されている内容をよく確認して【F8】を押す

Ghostについては、システムインストールディスク内の「Ghost.txt」をご 覧ください。

以降は、使用するオペレーティングシステムに従って、「1.Windows 2000 のセットアップ」または、P.52「2.Windows NT 4.0のセットアップ」に進 んでください。

1. Windows 2000のセットアップ

Windows 2000のセットアップを開始します。

●「Windows 2000セットアップウィザードの開始」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

**<b>
 Ø**「ライセンス契約」の画面が表示される

▼をクリックして続きを見る

内容を確認し、「同意します」ボタンをクリック

「同意しません」ボタンをクリックした場合、セットアップはできません。

「次へ」ボタンをクリック

#### **④「ソフトウェアの個人用設定」の画面が表示されたら、名前と組織名を** 入力する

ここで登録した名前や会社名は、セットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。また、名前は半角英数字で入力してください。ご利用になる アプリケーションによっては、名前に全角文字が使われていると正常に動作しないものがあります。

名前を入力

名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

組織名を入力する場合は、組織名の欄にマウスポインタをあわせて クリック

カーソルが点滅して組織名を入力できるようになります。名前と同 じように組織名を入力します。

「次へ」ボタンをクリック

①「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」の画面が表示された
 ら、コンピュータ名および、パスワードを入力する

コンピュータ名を入力

コンピュータ名は後で変更できます。

#### 設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パスワードを入力

パスワードは大文字、小文字を区別しています。パスワードは後で 変更できます。ここで入力したパスワードは、絶対忘れないように してください。

パスワードの確認入力の欄をクリックし、もう一度パスワードを入 力

「次へ」ボタンをクリック

●「Windows 2000セットアップウィザードの完了」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

自動的に再起動します。

⑦ 再起動後、「ネットワーク識別ウィザードの開始」の画面が表示された 場合は、「次へ」ボタンをクリック

Windowsのセットアップ

**②「このコンピュータのユーザー」の画面が表示されたら、必要な項目を** 入力し、「次へ」ボタンをクリック

#### 設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

③「ネットワーク識別ウィザードの終了」の画面が表示されたら、「完了」 ボタンをクリック

手順②で「ユーザーはこのコンピュータを利用するとき、ユーザー名 とパスワードを入力する必要がある」を選択した場合、「Windowsへの ログオン」の画面が表示されます。

手順②で設定したパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックして ください。

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしば らくお待ちください。

デスクトップ画面が表示される前に「システム設定の変更」の画面が表示される場合があります。その場合はデスクトップ画面が表示されるまで待ち、 「Windows 2000の紹介」の画面の「終了」ボタンをクリックしてから、「シス テム設定の変更」の画面の「はい」ボタンをクリックして再起動してください。

これでWindows 2000のセットアップの作業は終了です。 次にP.54「電源を切る」へ進んでください。

2. Windows NT 4.0**のセットアップ** 

Windows NT 4.0のセットアップを開始します。

セットアップを開始してからしばらくの間、画面が止まっているように見 えますが、セットアップ中ですので何も操作せずにお待ちください。

● しばらくすると、「ソフトウェア使用許諾契約」の画面が表示される

▼をクリックして続きを見る

内容を確認し、「同意します」ボタンをクリック

「同意しません」ボタンをクリックした場合、セットアップはできません。

「Windows NTセットアップ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタン をクリックしてください。 ❷「名前と組織名」の画面が表示されたら、名前と組織名を入力する

ここで登録した名前や会社名は、セットアップが完了した後には変更でき ません。変更するには再セットアップが必要です。『活用ガイド 再セッ トアップ編』をご覧ください。

名前を入力

名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

組織名を入力する場合は、組織名の欄にマウスポインタをあわせて クリック

カーソルが点滅して組織名を入力できるようになります。名前と同 じように組織名を入力します。

「次へ」ボタンをクリック

⑥「コンピュータ名」の画面でコンピュータ名を入力する

コンピュータ名を入力

コンピュータ名は後で変更できます。

本機をLANに接続して利用する場合は、コンピュータ名をネットワー ク管理者にご相談ください。

「次へ」ボタンをクリック

⑦「管理者アカウント」の画面でパスワードを入力する

パスワードを入力

パスワードは大文字、小文字を区別しています。

パスワードは後で変更できます。ここで入力したパスワードは、絶対忘れないようにしてください。

パスワードの確認入力の欄をクリックし、もう一度パスワードを入 力

「次へ」ボタンをクリック

「Windows NTセットアップ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックしてください。

途中で何度か画面が変わり、次の画面が出るまでしばらくかかります。なにも操作せずにお待ちください。

● 再起動の画面が表示されたら、「コンピュータの再起動」ボタンをクリック

いったん画面が真っ暗になり、自動的に再起動します。

LANボードが搭載されたモデルをお使いの場合、リンクケーブルが接続されていないと、起動時に「1つ以上のサービスまたはドライバが、 システム起動時にエラーになりました。」と表示されることがありま す。この場合は「OK」ボタンをクリックしてください。 次回リンクケーブルを接続して起動した際、再度このメッセージが表示されなければ問題ありません。

- ○「ログオンの開始」の画面が表示されたら、キーボードの【Ctrl 】と【Alt 】 を押しながら【Delete 】を同時に押す
- ⑦ 手順②で設定したパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリック 途中で何度か画面が変わり、③の画面が出るまでしばらく時間がかか ります。「ログオンの開始」の画面が表示された場合は、手順③、④と同 様の操作を行ってください。
- ③ しばらくしてInternet Explorerのようこそ」の画面が表示されたら、
   各項目の説明を読んだ後、
   ▲をクリック

これでWindows NT 4.0のセットアップの作業は終了です。 次の「電源を切る」へ進んでください。

### 電源を切る

次の手順で正しく電源を切ってください。

1.Windows 2000の終了

- **●**「スタート」ボタンをクリック
- **∅**「シャットダウン」をクリック
- ◎「次の中から選んでください」の欄で シャットダウン」を選択し、「OK」 ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

⑦ ディスプレイの電源を切る

2 .Windows NT 4.0の終了

●「スタート」ボタンをクリック

❷「シャットダウン」をクリック

❸ シャットダウンを実行する

「シャットダウンする」をクリック

「OK」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

④ディスプレイの電源を切る

以上で、Windowsのセットアップは完了です。 P.57<sup>T</sup> 5 お客様登録」へ進んでください。

# セットアップ中のトラブル対策

電源スイッチを押しても電源が入らない

 ・電源ケーブルの接続が不完全である事が考えられるので、一度電源 ケーブルをコンセントから抜き、本体と電源ケーブルがしっかり接続 されていることを確認してから、もう一度電源ケーブルをコンセント に差し込む
 電源ケーブルを接続しなおしても電源が入らない場合は、本体の故障 が考えられますので、ご購入元にご相談ください。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

電源を入れて、表示される画面をチェックする

Windows 2000の場合 CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セット アップを続行することができます。(CHKDSKは実行されない場合も あります。) セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。エ ラーメッセージが表示された場合は、システムを起動するためのファ イルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windows 2000は起動しません。Windows 2000を再セットアップするか、ご購入 元にご相談ください。 再セットアップについては、『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧 ください。 Windows NT 4.0の場合

CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セット アップを続行することができます。(CHKDSKは実行されない場合も あります。)

セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。 「Non-System disk」などのエラーメッセージが表示された場合は、シ ステムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があ ります。この場合、Windows NT 4.0は起動しません。

Windows NT 4.0を再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。 再セットアップについては、『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧 ください。

セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージ が表示された

 パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、 メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して、強制的に終了する
 電源が切れた後、再度電源スイッチを入れ、P.55「・電源を入れて、表示 される画面をチェックする」をご覧ください。

# 5 お褶

# お客様登録

登録には、3種類の方法があります(登録料、年会費は無料です)。

- インターネットによる登録
   添付の『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧ください。
- ・ 専用八ガキによる登録 添付の『お客様登録申込書』をご覧ください。
- ・FAX用紙による登録 添付の『お客様登録申込書』をご覧ください。

以上でお客様登録は完了です。 次の「6マニュアルの使用方法」へ進んでください。

# マニュアルの使用方法

本機に添付またば アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に 格納されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。

また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類を なくした場合は『活用ガイド ソフトウェア編』「トラブル解決Q&A」の 「その他」、「アフターケアについて」をご覧ください。

# マニュアルの使用方法

印のマニュアルは、「電子マニュアル」として「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に入っています。「電子マニュアル」の使用 方法については、P.59「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。

『安全にお使いいただくために』

本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する 前に必ずお読みください。

『Microsoft<sub>®</sub> Windows<sub>®</sub> 2000 Professional クイックスタートガイド』 (Windows 2000のヘルプの中にあるオンライン形式の『Microsoft Windows 2000 Professional ファーストステップガイド』でもご覧い ただけます)

Windows 2000の全般的な基礎知識や基本的な操作方法を確認したいときにお読みください。

<sup>■</sup>Microsoft<sub>®</sub> Windows NT<sub>®</sub> Workstationファーストステップガイド』 Windows NT 4.0の全般的な基礎知識や基本的な操作方法を確認した いときにお読みください。

『活用ガイド 再セットアップ編』 Windows 2000 Professional/ Windows NT 4.0セレクタブルモデル) 本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。

『活用ガイド ハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニ タワー型 (Windows 2000 Professional/Windows NT 4.0セレ クタブルモデル)

本体の各部の名称と機能、システム設定(BIOS設定)、ATコマンドについて確認したいときにお読みください。

**『活用ガイド ソフトウェア編』** Windows 2000 Professional/ Windows NT 4.0セレクタブルモデル)

アプリケーションの概要と削除/追加、他のOSをセットアップするときや、トラブルが起きたときにお読みください。

『ハードウェア拡張ガイド 省スペース型、デスクトップ型、ミニタ ワー型、マイクロタワー型』 本体の内部構造を知りたいときや、機能を拡張する機器の取り付けを 行うときにお読みください。

ディスプレイのユーザーズマニュアル

- 液晶ディスプレイまたはCRTディスプレイがセットになったモデルの 場合は、ディスプレイに添付されています(P.2<sup>r</sup>1)添付品の確認」をご 覧ください)。ご利用の際に、必ずお読みください。
- 本体とディスプレイがセットになったモデルに添付のマニュアルには、Windows 2000の設定方法が記載されていない場合があります。この場合は、Windows 98と同様の設定方法で行ってください。
   また、Windows 2000で液晶ディスプレイのUSBハブが正常に接続されていることの確認については、下記の手順に従ってください。

「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック

「システム」をダブルクリック

「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタン をクリック

「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリック

「NEC USB Hub」が表示されていることを確認します。 NEC製USB接続キーボード(バスパワードハブ付き)を利用され ている場合は「NEC USB Hub」が2つ表示されますが、問題あり ません。 選択アプリケーションのユーザーズマニュアル

モデルによって、Office XP Personal、Office XP Professional、Office 2000 Personal、Office 2000 Professionalなどのマニュアルが添付されています(P.2<sup>1</sup> 1 添付品の確認」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

『NEC PCあんしんサポートガイド』

パソコンに関する相談窓口、受講施設、故障時のサービス網やNECの パソコン関連総合サイト「121ware.com」について知りたいときにお読 みください。

Microsoft関連製品の情報について
 次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連商品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

http://www.microsoft.com/japan/info/press/

# 電子マニュアルの使用方法

電子マニュアルを使用する場合は、次の手順で起動してご覧ください。

- CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMドライブに、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュ アルCD-ROM」をセットする
- アスクトップ画面の「マイコンピュータ」をダブルクリックし、CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリック
- O「\_manual 」フォルダをダブルクリックし、「index 」ファイルをダブル
   クリック

「Mate 電子マニュアル」が表示されます。

#### PDF形式のマニュアル (ファイル)をご覧いただくときの補足事項

あらかじめ、本機にAcrobat Reader 4.0をインストールしておく必要が あります。詳しくはMate 電子マニュアル『活用ガイド ソフトウェア編』 「アプリケーションの概要と削除/追加」 Acrobat Reader 4.0」をご覧く ださい。 Windows 2000を使用する方へ...

- ・ あらかじめ、Acrobat Reader 4.0を起動しておいてください。
- ・アプリケーションエラーが発生した場合は、次のいずれかの方法を 行ってください。
  - ・ Acrobat Reader 4.0を再起動する。
  - ・ Windows 2000を再起動する。
  - ・ Acrobat Reader 4.0を削除してから、もう一度追加する。

#### メモ

- 必要に応じで「manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用ください。
  - 「\_manual Jフォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピー してご利用の際、フォルダ名・ファイル名などは変更しないでくださ い。コピー先のフォルダ名はすべて英数字の半角文字である必要があ ります。それ以外の文字(「デスクトップ」などの日本語)のフォルダ名 にコピーすると起動することができなくなります。
- Windowsが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、電子 マニュアルをご覧になることができません。そのため、あらかじめ「ト ラブル解決Q&A」を印刷しておくと便利です。
- ・NECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」では、NEC製の電子マ ニュアルをダウンロードできるサービスを行っております。

http://121ware.com/

「レスキュー」「商品情報検索」「商品情報」にある、電子マニュアル ビューアをご覧ください。

また、NEC PCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行ってい ます。

http://www.pcmanual.nedox.co.jp/nedox/

以上でマニュアルの使用方法は完了です。 次のページの「70使用する環境の設定と上手な使い方」へ進んでください。

# 使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用・管理する上で便利な機能を設定します。機能 の詳細や設定方法については、『活用ガイド ハードウェア編 省スペー ス型、デスクトップ型、ミニタワー型』および『活用ガイド ソフトウェア 編』をご覧ください。

1. 最新の情報を読む

補足説明

補足説明には、本製品のご利用にあたって注意していただきたいこと や、マニュアルには記載されていない最新の情報について説明してい ますので、削除しないでください。以下の方法でお読みください。

・「Mate 電子マニュアル」を起動して、「補足説明」をクリック

・「スタート」ボタン 「プログラム」「補足説明」をクリック

2. Windows 2000 **D**Service Pack

Service Pack 1の削除

Windows 2000をお使いの場合、本機にはService Pack 1がインストー ルされています。Service Pack 1を削除する場合は、必ず『活用ガイド ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」の 「「Service Pack」について(Windows 2000の場合)」をご覧になり、削 除してください。削除時の注意および削除方法が記載されています。

3. アナログ液晶ディスプレイの調整

液晶ディスプレイ調整ツール

文字がにじむときや縦縞状のノイズなどがあるときは、液晶ディスプレイの調整が必要です。本機には液晶ディスプレイの画面を調整する アプリケーション(液晶ディスプレイ調整ツール)が アプリケーショ ンCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に添付されています。液晶ディス プレイ調整ツールの追加は、『活用ガイド ソフトウェア編』 アプリ ケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。追加が終わったら、ア ナログ液晶ディスプレイに添付のマニュアルを見ながら調整を行って ください。

- スーパバイザ/ユーザパスワード、ハードディスクパスワード、筐体ロッ ク. ファイル暗号(YCPGP)など
- 本機には、本機の不正使用を防止する機能(スーパバイザ/ユーザパス ワード)、ハードディスクドライブが盗難にあってもデータの漏洩を防 ぐ機能(ハードディスクパスワード)、内蔵部品(メモリやハードディス クドライブ)の盗難を防止するため、錠をかける機能(筐体ロック)があ ります。この他にも便利な機能があります。詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型』 「PART1 本体の構成各部」の「セキュリティ/マネジメント機能」をご 覧ください。 また、本機には、ファイルの暗号化/復号化を提供するアプリケーショ

また、本機には、ファイルの暗号化/復号化を提供するアフリケーション(PGP)が、「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に添付されています。詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

- 5. データのバックアップの設定
- Masty Data Backup

ハードディスクドライブが故障すると、データが一瞬にして使えなく なってしまい、復帰できない可能性があります。二度と同じものを作 れないような大切なデータは、保護するためこまめにバックアップを とるようおすすめします。

本機には、ハードディスクドライブのデータをバックアップするアプ リケーション(Masty Data Backup)が アプリケーションCD-ROM/ マニュアルCD-ROM」に添付されています。(添付されているアプリ ケーションは、モデルによって異なります。)

詳しくば"活用ガイド ハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型』「PART1 本体の構成各部」の「ハードディスクド ライブ」、『活用ガイド ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と 削除/追加」をご覧ください。

BIOSセットアップメニュー

「System backup reminder」を設定すると、本機起動時にバックアッ プを行うように警告を定期的(毎日、毎週、毎月)に出すことができます。 省スペース型、ミニタワー型で使用することができます。 詳しくは『活用ガイド ハードウェア編 省スペース型、デスクトッ プ型、ミニタワー型』PART2 システム設定」の「Securityの設定」を ご覧ください。 VirusScanなど

本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーション(VirusScan)が 「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に添付されてい ます。

本機に添付されているVirusScanでは、新種のウイルスを検出できない 場合があります。新種ウイルスに対応するため、ウイルスデータファイル(DAT ファイル)を更新する必要があります。

この他にも便利なアプリケーションが添付されています。 詳しくば「活用ガイド ソフトウェア編」「アプリケーションの概要と 削除/追加」をご覧ください。

7. 運用・管理するための添付アプリケーションの設定

Intel<sup>®</sup> LANDesk<sup>®</sup> Client Manager 6(with NEC Extensions), pcAnywhere 9.2 EX, CyberAccess

- 本機にはパソコンの情報を管理する機能(Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions))、遠隔地からパソコンを操作す る機能(pcAnywhere 9.2 EX)、システム管理者向けと一般ユーザー向 けの利用環境を設定する機能(CyberAccess)を提供するアプリケー ションが アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に添付 されています。(SmallOffice向けモデル(MA70H/L)は、Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)とpcAnywhere 9.2 EXは添付されていません。) 詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と 削除/追加」をご覧ください。
- 8. 上手な使い方
- トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源 の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあり ます。詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』「トラブル解決Q&A」 の「トラブルを予防するには…」をご覧ください。

❷ 本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源ケーブルやマウスなど 定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド ハードウェア 編 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型』「PART4 付録」の 「本機のお手入れ」をご覧ください。

#### ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBIT-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンター へご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかな る責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows 2000またはWindows NT 4.0および本 機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
- (10)本書に記載しているWebサイトは、2001年6月現在のものです。

Microsoft、Windows、Windows NT、Outlook、PowerPoint、Bookshelf、およびWindows NT ロゴは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。 VirusScanおよびPGPは、米国法人Network Associates,Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国 における登録商標です。

PS/2は、IBM社が所有している商標です。

Intel、Pentium、CeleronおよびLANDeskは、Intel Corporationの米国および他の国々における登録商標および商標です。

Intel<sup>®</sup> LANDesk<sup>®</sup> Client Manager & with NEC Extensions は、Intel<sup>®</sup> LANDesk<sup>®</sup> Client Managerの テクノロジを使用しています。

Symantec、Symantecロゴ、Norton Ghost、pcAnywhereはSymantec Corporationの登録商標です。 ©2001 Symantec Corporation. All Rights Reserved.

Easy CD Creator、DirectCDは、Adaptec,Inc.の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。